

平成23年度 事業報告書

1 組織強化活動

(1) 全戸会員制の推進

社会福祉事業の組織的活動の促進と地域福祉の増進を図るため、社協の全戸会員制を推進し、各自治会の協力のもとに7,880戸で98%の加入実績となった。

(2) 高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に10万円以上の金品を寄付された18件の寄付者に対し、感謝状を贈呈した。

(3) 研修会等への参加

- 全道社協会長事務局長研究協議会 (23年6月6日～7日 札幌市2名)
- 道北地区市社協職員自主研修会 (23年6月17日～18日 旭川市4名)
- 東日本大震災被災地支援活動 (23年6月17日～21日 石巻市2名)
- 上川地区社協会長事務局長会議 (23年6月28日 旭川市2名)
(23年12月13日 旭川市2名)
(24年3月15日 旭川市2名)
- 上川支庁管内社協職員研修会 (23年7月4日 旭川市2名)
- 地域生活定着支援事業研修会 (23年8月26日 札幌市1名)
(24年2月24日 札幌市1名)
- 生活福祉資金貸付事業研修会 (23年8月29日～30日 旭川市1名)
- 社協づくり研修会Ⅰ－Ⅱ (23年9月21日 旭川市2名)
- 上川管内社協職員連絡協議会研修会 (23年10月14日 旭川市2名)
- 市町村社協事務局長連絡協議会 (23年11月21日 札幌市1名)
- 上川北部ブロック社協事務局長会議 (24年2月9日 士別市1名)
- 法人役員研修会 (24年2月13日～14日 札幌市2名)

2 広報活動

(1) 社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」を、6回(第156～第161号)発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報の提供に努めた。

(2) 情報提供

各種ボランティアスクール開催案内等、ホームページによる福祉サービスの情報提供、また市内報道機関・行政の協力による広報活動を行った。

3 ボランティア活動

(1) 平成23年度士別市福祉教育懇談会

日 程 5月19日(木) 18:30~20:00

会 場 サポートセンターしべつ

講 師 旭川市立愛宕東小学校 愛東支援員 宇夫安春 氏

旭川市立愛宕東小学校 主幹教諭 佐藤聖士 氏

内 容 市内各学校の教職員及び教育・福祉関係者に呼びかけ、互いの実践と情報を交換し交流する中で、福祉教育の啓発と促進を図ることを目的として開催した。

講演 「地域の子どもは地域で育てる」

～子どもの見守り活動 愛東支援員の取り組み～

参加者 教職員、福祉関係者 39名

(2) 第21回士別市小学生ボランティアスクール

日 程 6月25日(土) 10:00~11:30

会 場 士別市民文化センター 研修室

講 師 ボランティアセンター運営委員

内 容 ・お話 「東日本大震災被災地復興支援活動を通して」

講師 士別市ボランティアセンター運営委員 工藤雅史さん

・グループワーク

「ぼくらにできるボランティア」

参加者 20名

(3) 第17回士別市中学生・高校生ワークキャンプ

日 程 10月15日(土) ~ 16日(日)

会 場 士別市つくも青少年の家、士別市民文化センター大ホール

講 師 NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会

士別市ボランティアセンター運営委員

内 容 障がいをもって生活している方々や、ボランティア活動に取り組んでいる方々とのふれあいの中から、生きることの尊さや支えあう心の大切さを学び、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的とし、今回は「ボランティア愛ランド北海道2011かみかわ北部 in しべつ」と合同で開催し、全道各地からの参加者のもと、研修と交流を深めた。

参加者 74名

(4) 平成23年度しべつヤングボランティアスクール

日 程 10月15日(土) ~ 16日(日)

会 場 士別市つくも青少年の家、士別市民文化センター大ホール

講 師 NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会

士別市ボランティアセンター運営委員

内 容 第17回士別市中学生・高校生ワークキャンプと同じ
参加者 74名

(5) 第33回住民福祉活動を進めるつどい

日 程 3月3日(土) 13:00~16:00

会 場 士別市民文化センター 小ホール

内 容 北海道家庭学校の創設者で日本の社会福祉の先駆者であり、感化教育に一生を捧げた「留岡幸助」の姿を描いた映画「大地の詩 -留岡幸助物語-」の上映と、その映画の監督である山田火砂子さんの講演会を行い、家庭教育はもとより地域の福祉力の重要性を学んだ。
・講演 「映像で語る福祉の心 -無償の愛にふれて-」
講師 山田火砂子 氏
・映画 「大地の詩 -留岡幸助物語-」

参加者 181名

※「明日の地域福祉を考えるつどい」とし、平成23年度 士別市民ボランティアスクール、中央支部研修会と合同で開催した。

(6) 平成23年度 士別市民ボランティアスクール

日 程 3月3日(土) 13:00~16:00

会 場 士別市民文化センター 小ホール

内 容 住民福祉活動を進める集いと同じ

※「明日の地域福祉を考えるつどい」とし、第33回住民福祉活動を進めるつどい、中央支部研修会と合同で開催した。

(7) 福祉・ボランティア団体助成事業

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、18団体に対し助成し活動の助長を図った。

(8) 学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校(小学校11校、中学校6校、高等学校2校)に対し、生徒数20人以上の学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円を助成し活動の助長を図った。

(9) 士別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、18名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

また、10月に開催した「ボランティア愛ランド北海道2011」では、各部会に所属し企画運営に携わった。

- 運営委員会 委員18名 委員会12回（第2月曜日）開催
- 個人登録ボランティア 72名（平成24年3月31日現在）
- ボランティアセンターだよりの発行 3回
- 社協だより掲示板への掲載 6回
- ボランティア指定校担当者会議の開催 2回
- ボランティア団体研修会の開催
4月14日（木） 市内各ボランティア団体の活動報告による情報交換と課題の共有化を図った。
- 自主研修会の実施 3月16日（金）ボランティアセンターの運営について
- 土曜ボランティア学習塾の開催
（ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施）
塾登録者 34名（中学生2名、高校生21名）
塾開催日 毎月第2土曜日（12回開催）塾生延べ104名参加
開催内容 ふれあい広場（学童生徒コーナー）企画運営
ボランティア愛ランド北海道2011かみかわ北部 in しべつに
参加、児童館児童、障がい者との交流等
- 社会貢献活動への協力
「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう」、「空き缶のリングプルを集めて車椅子を贈ろう」という運動が市民に定着しつつあり、特にエコキャップ（ペットボトルのキャップ）に関しては、本年度は570の団体、個人から寄せられ、平成20年4月からの送付累計は2,414,376個（24年4月23日現在）で、ワクチン3,018人分になった。
- 東日本大震災被災者支援義援金受付活動
23年3月～4月の土・日曜日

(10) 収集ボランティア活動

市民から寄せられた使用済み切手、プリペイトカードを収集ボランティアサークルひまわりが整理し「誕生日ありがとう運動本部」に送っており、本年度の実績は下記のとおりである。

使用済み切手	190件	107,078枚
使用済みカード	75件	2,285枚

(11) 声の図書活動

○声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌等を、土別声の図書会の朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在1,700編11,313本となり、本年度の貸し出しは延45件176編1,491本であった。

・利用者 視力障がい者他 4名

4 在宅福祉サービス活動

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って平成2年度から単位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきたが、平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自治会とタイアップした地域福祉の推進をめざし、本年度は20自治会に対し、1自治会3万円の助成を行った。

5 互助共励活動

(1) 無縁仏供養

日程 8月18日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」において、市関係者の参列のもと48柱の供養をした。

(2) 歳末たすけあい募金運動（23年12月1日～30日）

本募金運動は、各報道機関をはじめ多くの市民の協力のもと、士別市共同募金委員会と共催で実施しており、本年度は44件1,498,817円の浄財が寄せられたところであるが、特に、催し物による募金活動にご貢献いただいた。

なお、毎年恒例となっている、ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあい演芸会」益金450,730円と、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティーカラオケ選手権大会」益金374,830円の募金合計は、825,560円となり実績の約55%を占めている。

(3) 「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、その総額が86,702円となり全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内38ヶ所

(4) 歳末たすけあい見舞事業（23年12月）

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末見舞金品を配布した。

対象者 237名 見舞金品総額 1,402,000円

(5)ふれあい広場 2011 IN しべつ P A R T 28

日 程 7月2日(土)～3日(日)

会 場 士別市総合体育館

テ ー マ 「で愛 ふれ愛 かたり愛」～あふれる笑顔 みんなが主役～

実施主体 福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、191名の「ふれあい広場 2011INしべつPART28実行委員会」が、企画から当日の運営にあたった。

- 内 容
- ・語らいコーナー…語らいサロン、血圧測定、健康相談(市立病院医師派遣)
 - ・体験の広場…点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、障がい者スポーツ交流(車イスラグビー等)等
 - ・ステージ企画…ふれあいコンサート 等
 - ・ふれあいの店…障がい者関係作品展示即売、バザー
 - ・ボランティア障がい者福祉展
…ボランティアコーナー、特別支援教育作品展
 - ・学童生徒ボランティア活動展
…各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー(駄菓子屋、バルーンアート等)
 - ・福祉標語
応募点数 295名 295点
最優秀作品 「つくろうよ! 希望と笑顔が であう街」
 - ・ふれあいの夕べ(17:30～19:00)
参加者 620名(つまみセット交換数)

会 議 実行委員会2回含め 30回開催

入 場 者 2日間 約 3,200名

協 力 者 2日間 504名(実行委員を除く)

ガイドヘルプ活動

ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で30名が参加してくれた。

(6)生活福祉資金貸付事務

低所得者や高齢者、障がい者のいる世帯等の生活自立を支援するため北海道社会福祉協議会が主体となり、市町村社協が受付窓口となっている事業で、本年度は生活支援費、教育支援資金についての相談が23件あった。

(7)特別生活資金(冬期生活資金)貸付事務(11月1日～3月31日)

福祉年金等を受給する高齢者、障がい者及び特定疾患世帯に対し、燃料費など冬期の生活を確保する生活資金を貸付する事業で、北海道社会福祉協議会が主体となり市町村社協が受付窓口となっており、本年度は1件の相談があり決定している。

(8) 士別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言社会資源の紹介活用等を行った。

相談所

常設相談所…社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所…58名の相談員（民生委員）宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間166件

処理状況（重複対応有り）

解決…54件・再来…50件・民生委員…16件・他機関…49件・その他…11件

(9) 老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者や障がい者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しており、本年度は192本の利用があった。

6 朝日地域福祉圏事業

(1) ふれあい昼食会

町内の70歳以上の高齢者を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ707名の参加があった。

(2) 第43回福祉運動会

日程 10月21日（金）

会場 朝日町農業者トレーニングセンター

参加者 140名（65歳以上の住民90名、ボランティア50名）

(3) ボランティア支援事業

○知恵の蔵運営委員会支援

○広報紙「ぼらんていあネットワーク」を年6回発行した。

(4) 助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

・士別市こども通園センターのぞみ園通園者7世帯9人（125回）

・旭川市療育施設通園者1世帯1人（11回）

・名寄市立総合病院リハビリ通院者1世帯1人（8回）

7 士別市総合福祉センター指定管理運営事業

[別記1]

8 士別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業

[別記2]

- 9 サポートセンターしべつ受託事業 [別記3]
- 10 士別市施設入浴サービス受託事業 [別記4]
- 11 士別市移送サービス受託事業 [別記5]
- 12 士別市在宅介護支援センター運営受託事業 [別記6]
- 13 福祉パトロール受託事業 [別記7]
- 14 士別市いきいきデイサービス受託事業 [別記8]
- 15 介護保険制度に係わる事業者指定
- (1) 居宅支援事業所（ケアプラン作成機関）
- 士別市社協居宅介護支援事業所 平成12年4月1日(指定) [別記9]
- (2) 居宅サービス事業所（サービス提供機関）
- 士別市社協ヘルパーステーション 平成12年4月1日(指定) [別記10]
- 士別市社協訪問入浴事業所 平成12年4月1日(指定) [別記11]
- 16 障害者自立支援法に係わる事業者指定
- (1) 居宅支援事業所（身体・知的・児童・精神）
- 士別市社協ヘルパーステーション 平成18年4月1日(指定) [別記12]
- 17 介護保険関係研修会への参加
- 認定調査員新規研修会 (23年5月18日 名寄市1名)
 - 北海道主任介護支援専門員フォローアップ研修 (23年6月11日～12日 札幌市1名)
 - 日本褥瘡学会在宅褥瘡道北セミナー (23年6月25日 名寄市4名)
 - 全道ホームヘルプサービス研究大会 (23年7月11日 札幌市2名)
 - 難病患者等ホームヘルプサービス養成研修 (23年8月12日 名寄市2名)
 - 北海道主任介護支援専門員フォローアップ研修 (23年8月27日～28日 札幌市1名)
 - 平成23年度苦情解決システム研修会 (23年10月9日～10日 札幌市2名)
 - 介護支援専門員実務従事者基礎研修 (23年10月18日～21日 旭川市2名)
 - 高次脳機能障害研修 (23年10月21日 士別市2名)
 - 苦情解決システム研修会 (23年11月9日～10日 札幌市1名)
 - 権利擁護セミナーinしべつ (23年11月19日 士別市10名)
 - 全道ヘルパースキルアップ研修 (23年12月12日～13日 札幌市2名)
 - 平成23年度認定調査員現任研修 (24年2月20日 士別市7名)

- 上川管内社連協北部ブロック研修会 (24年2月24日 美深町1名)
- 平成23年度福祉専門職のためのキャリアアップ支援研修 (24年2月25日 札幌市1名)
- ホームヘルプサービス経営セミナー (24年3月3日 札幌市1名)
- 障がい者福祉サービス報酬改定説明会 (24年3月26日 旭川市1名)
- 士別市ケアマネ研修会 (24年3月28日 士別市7名)

18 平成23年度 強化事業

(1) 日常生活自立支援事業の推進

判断能力が低下されている方々の在宅生活を支えるため、日常的な金銭管理等のお手伝いや福祉サービス等を利用するための情報提供など、利用者が安心して自立した地域生活を送れるようサービスを提供した。

(2) ボランティア活動の推進

本年は「ボランティア愛ランド北海道」開催に向け、士別のみならず名寄、剣淵、和寒から総勢200名のボランティアが企画運営に携わり、地域のボランティア活動の推進とのネットワーク強化を図った。

(3) ボランティア愛ランド北海道2011の支援

- 日 程 10月15日(土)～16日(日)
- 会 場 士別市総合体育館、士別市民文化センター他
- 内 容 「会えてよかった！ 今までの出会い 新しい出会い」をテーマに、道内のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる道民が一堂に集い、ボランティア活動における課題について研究協議を進めるとともに、仲間づくり、ネットワークづくりの強化や交流・体験を通じてボランティア活動推進を図ることを目的として開催した。
- 15日) 17の分科会に分かれて研究協議
総合体育館に一堂に会し交流会
- 16日) 文化センター大ホールで全体会
- 参加者 1, 291名

19 その他

社協監事による監査	4回	8月25日・11月28日・2月27日・5月16日
社協正副会長会議	4回	5月18日・9月26日・1月31日・3月14日
社協理事会	3回	4月1日・5月23日・3月23日・
社協評議員会	2回	5月30日・3月29日
各種会合		25回
出前講座の実施	8回	